

「県北のプロフェッショナルにインタビュー」  
美咲町長に聴く

## それぞれの特性を生かす

幼少時代はどのようなお子さんだったんですか？

旧旭町出身で、家は仕出し屋と魚屋を営んでいました。あの頃は、この家にも子どもがたくさんいて、私が中学の頃は同級生だけで240人くらいいました。子どもの頃は、山と川で遊ぶしかなかったですね。当時は冬に旭川ダムに氷が張っていて、氷の上で遊んでいたのを覚えています。割れたことはなかった

のですが、今から思うと危ないことをしていましたね。

子どもの時の夢は？

夢は野球選手でした。中学では野球部で左ピッチャーとして活躍していたんです。野球で強かった倉敷工業高校の監督から「うちの高校、来い」と誘われたこともあったんですが、ずっと自己流のフォームで投げていたもので、肩をこわしてしまい、野球を断念して落合高校へ進学

しました。どんなスポーツにも言えますが、知識をもった指導者が、基礎を教えないといけないと思います。自己流はダメです。高校へは、家からダム沿いの道をバイクやバスで通っていました。当時は、舗装してないデコボコ道で通うのも大変でした。

高校卒業後は？

宮崎大学の農学部へ進学しました。当時は人口が多くて、これから食糧難になると言われ

ていました。宮崎大学にはバイオの先駆者と言われる先生がいて、これからはそういう研究が必要だと考え進学しました。遠く離れた宮崎県はどうでしたか？

福岡まで出る人はいましたが、宮崎に進学する人はほとんどいませんでした。やはり気候や風習はまったく違うし、ものの考え方も多少違う所があった。中国地方から出ていい刺激になりました。やっぱり一度は遠くに出るのは必要だと思えます。岡山市から夜行列車に乗って行くので、盆と正月くらいしか帰れませんでしたね。

大学卒業後は？

卒業後は、大阪の薬品会社へ就職しました。家が商売をしていたからか、自分で何か起業したいという思いはなんとなくあったんです。それで、商売をするならお金について学ばなければいけないと考え、少ししてから大阪の金融機関へ転職しました。その後、地元へ帰ってきて、中学校の理科の教師になりました。そうこうしていると、時代の移り変わりで、仕出し屋が器からパックの容器に変わっていき、人手も必要になり、実家の仕出し屋を手伝うようになりました。パックの容器になったことで、軽くなり大量に持つことができるようになりました。昔は冠婚葬祭も家ですることが多かったので大忙しでしたね。

## 家が仕出し屋だったから、調理師免許をもっています。



美咲町長 定本 一友

プロフィール  
昭和23年5月13日生まれ、旧旭町出身。宮崎大学農学部卒業後は、大阪の薬品会社へ就職し、その後金融機関へ転職。地元の旧旭町に帰郷し、実家の仕出し屋を営みつつ、平成元年に旧旭町の町議会議員になり、平成21年に美咲町長へ初当選し、現在3期目になる。

イコール株式会社 代表 池田 誠

プロフィール  
勝山高校卒業後、夢であった旅行会社や旅館経営を実現するため、大阪の旅行会社へ就職し旅行資格を取得。その後、旅行会社やバス会社を起業し、現在は美作三湯、兵庫県淡路島、島根県隠岐の島などの施設の再生運営を行なっている。現在は、(株)未来奥津の代表として、鏡野町の観光部門を任せられ地域の活性化をテーマに活動している。

それまで魚をさばいたりしたことはあったんですか？

まったくありませんでした。学生時代は外食が多かったし、大阪に就職していたころはずっと結婚していたので、包丁を持つということがなかったですね。でも食べていくためにはなんでもしないとけませんから、必死で練習しました。あの頃は美作鮮魚協同組合があり、定期的に講習会をしていたので、そこで習ったりもしました。ちゃんと調理師免許も取りましたよ。

政治の世界に入ったのは？

平成元年、仕出し屋を始めて5年経って、親戚のおじさんに薦められたのがきっかけです。私と私の友人に声がかか

り、最初は友人が立候補すればいいと思っていたんですが、その友人が辞退してしまい、結果私が出ることになりました。出るからには応援してくれる人もい

るので頑張らなければと思いい、おかげさまで当選することができました。それから20年間町議会議員として勤めさせていただきました。初当選したときは、まだ旧旭町でしたが、平成11年に政府主導で市町村合併が進められました。平成17年に今の美咲町として新たなスタートを切ったわけですが、それま

ではこの市町村と合併するかどうかで大変でした。私は合併協議会にも入っていましたから、忙しかったです。最初は旭町は真庭

市に入っていたし、中央町は津山市に入っていたし、バラバラでしたね。結果、中央町と旭町と柵原町の3町がまとまり美咲町が誕生しましたが、合併協議会で残された課題がたくさんあって、現在でもその処理をしている最中です。

現在力を入れていることは？

地域創生を進めていくために、県北の1市5町、津山市、鏡野町、奈義町、勝央町、久米南町と美咲町とで、津山圏域地域創生協議会を立ち上げています。これから、さまざまな分野の事業に協力して取り組んでいきますが、観光産業分野の事業については、まさにこれか

ら調査・研究を行なっていきます。また、美咲町は、ピオーネの販売に力を入れています。大阪、東京、香港、シンガポールに売りに営業に行っています。美咲町では43ヘクタールの植え付けをしていて、これは県北では番多いいんです。

今後の美咲町のビジョンを教えてください。

にぎわいの町になるよう、守りの行政ではなく、攻めの行政でいかなるかはと思っています。まだ仮称ですが、「みさきリノベーションプロジェクト」としてリノベーションの町づくりを進めていきます。旭地区は自然の恩恵を利用した農業などの第一次産業を中心に進め、柵原地区は、工場が多く第二次産業が中心となります。中央地区は、中心部になるのでサービスを重視した産業を進めていき、中央地区に人を集めその流れ

で、旭柵原地区の観光地に行ってもらおうのが理想の姿だと思います。今現在あるものの魅力も高めていきたいと考えています。美咲町の旭地区には、「まきばの館」や「三休公園」があり、柵原地区には「柵原ふれあい鉾山公園」など楽しめる場所がたくさんあります。三休公園は桜の名所として知られていますが、さらに桜の植樹をして遠方からも人を呼べるようにしていきたいですね。

定本町長ありがとうございます。お話を聞いて、「絞込や人財登用力」のある方だと感じました。お金のこと、人材、マネージメントのことを経験し学ばれ、人財の強みを見えるの登用に長け、美咲町をPRしていくうまさには感心しました。人財の強みを生かすプロフェッショナルでした。

池田 誠



インタビュー  
【シリウスグループ】  
イコール株式会社 代表 池田 誠

美咲町長 定本 一友

米屋倶楽部奥津は、県北で頑張っている人を応援しています。

奇蹟の湯 奥津温泉ホテル  
米屋倶楽部 奥津

TEL:0868-52-0016  
http://www.komeyaclub-okutsu.jp/